

【九州広域復興支援ファンド】 株式会社地域交通ホールディングスに対する投資決定について

株式会社地域経済活性化支援機構(以下、「機構」という。)が、九州地方の地域金融機関等と共同で設立した「九州広域復興支援ファンド」(以下、「本ファンド」という。)は、株式会社地域交通ホールディングス(以下、「地域交通HD」という。)に対する投資を決定しましたので、お知らせいたします。なお、本件は、本ファンドの第16号投資案件となります。

リーマンショック以降、タクシーの利用者数は緩やかに減少を続けています。また、需要減少を上回るスピードでドライバーの高齢化・人員不足が深刻化し、タクシー事業会社をとりまく経営環境は、年々悪化傾向にあります。さらに、昨年から続く新型コロナウイルス感染症の影響による需要の急激な減少が、タクシー事業会社の業績悪化に拍車をかけている状況です。

他方、高齢化が進む地方都市では、タクシー事業会社は公共交通機関としての「地域の足」となる重要な役割を担っています。

このため、事業統合等を通じて経営効率を改善させ、経営基盤を安定化させることがタクシー業界の課題として考えられています。

本年1月、地域交通HDは、このような課題に対応すべく、熊本県においてタクシー事業を運営する「肥後交通グループ」と「ミハナタクシーグループ」の経営統合によって持株会社として設立され、両グループを構成するタクシー事業会社10社がその傘下に入りました。さらに、統合効果を最大化する観点から、10社は合併し、同年4月1日に新しい事業会社として発足します。

本ファンドは、地域交通HDのコロナ禍における利用客の減少等に対応した事業者統合等による採算性向上の取り組みを後押しすることとし、同社への投資及び社外取締役の派遣を行うことを決定しました。

今後も、機構は災害及び新型コロナウイルス感染症の影響により経営環境が悪化した事業者の復興、事業再生等を早期に実現するため、地域経済の復興及び再活性化に資する事業者に対する必要資金の提供及び人的支援を行ってまいります。

【投資先の概要】

| | |
|-------|---|
| 企業名 | 株式会社地域交通ホールディングス |
| 本社所在地 | 熊本県熊本市西区上熊本 |
| 設立年月日 | 2021年1月 |
| 事業内容 | タクシー事業(持ち株会社) |
| 役員構成 | 取締役 ⁽¹⁾ :野々口弘基(代表取締役)、森泰司 監査役:岡野訓 |

注(1):本ファンドの出資後、地域交通 HD の臨時株主総会決議を経て、本ファンドから派遣される者(1名)が社外取締役に就任予定。

【新しい事業会社の概要】

| | |
|-------|------------------------|
| 企業名 | 株式会社 TaKuRoo(タクルー) |
| 本社所在地 | 熊本県熊本市西区上熊本 |
| 設立年月日 | 2021年4月 |
| 事業内容 | タクシー事業(事業会社) |
| 株主 | 株式会社地域交通ホールディングス(100%) |
| 代表取締役 | 小山剛司(就任予定) |

【九州広域復興支援ファンドの概要】

機構ホームページをご参照ください。

<http://www.revic.co.jp/business/fund/06.html>

<お問い合わせ先・ご相談の連絡先>

株式会社地域経済活性化支援機構

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

代表: TEL 03-6266-0310

地域活性化支援本部: TEL 03-6266-0590